

会 誌

第四十一号

平成 21 年 12 月

大阪市立大学大学院医学研究科
分子病態薬理学教室 同窓会

『市大らしさ』

山本 研二郎

はじめに

大学史資料室の大島真理夫教授から、上記のタイトルで何かエッセイを書くようにと依頼をうけた。何時ものことながら軽い気持ちでお受けしたが、いざ筆を執ると、これはちょっと難物であることに気がついた。

大学らしさ？一体大学に「らしさ」というものがあるだろうか。漠然と考えれば、学習院と早稲田はちょっと違うと思うが、具体的に学生が違うのか、教師が違うのか、判然としない。「らしい」とつくのは、日本人らしい、男らしい、女らしい等々あるが、それで決めてしまうとクレームがつきそうだ。となると「これが市大らしいところ」だと断定するのはいささか憚られる。私は市大勤務の大半を医学部で過ごしたので、その目を通して二人の医師の行動を紹介しよう。

1. 釜ヶ崎の良寛さん

彼は昭和24年大阪市立医学専門学校（現市大医学部）出身で、親父さんが京橋で開業していたので子供の頃から下町の医者生活に身が染みていた。親父さんは現在でいうボランティアとして各地のハンセン病患者を見舞いかたがた俳句の吟行に彼を連れていっていたので、子供の頃から社会の弱者と接していた。親父さんが若くして亡くなったので、跡をついで開業したが、終戦後の京橋界隈にはアパッチ族と称して廃品回収業者の大きな集団があった。世話焼きの良寛医師は医療面だけでなく、日常のもめ事には警察や地域住民との間にたって交渉にも当たり、「アパッチの医者」としてマスコミにも騒がれた。

釜ヶ崎は東京の山谷とならんで日雇い労働者の街として有名である。単身の労働者の住む街で、過酷な労働、片よった栄養、過度の飲酒、不衛生な環境などから、結核（全国平均35倍）、性病（大阪平均の30倍）、アルコール中毒、C型肝炎（全国平均の10倍）、精神の不安定など抱える患者が多く、住民票がないので生活保護も受けられない。良寛さんは大阪府、大阪市に働きかけて、愛隣会館、あいりん学園、西成保健所分室を作るのに努力した。そして昭和45年、大阪市社会医療センター、附属病院（100ベッド）を立ち上げた。医療は市大医学部から現職の医師が出向の形で応援し、彼は院長として病院経営のみならず、社会福祉の面でもまさに先進的な活動を展開した。

良寛さんは何時も汚い服、汚い靴をはいていて、釜ヶ崎の住民と区別がつかない。患者と同じ目線に立つためには「これやないとあかんねん」と言っていた。患者のためには薬よりも食べ物をというのが彼の口癖であった。良寛さんの悩みは診療費を払えない患者が大勢いたことである。そこで彼が考えついた

のが前代未聞の借用書である。「医療費をお互いの信用の上で借ります。生活に余裕ができたら返します。」という内容で患者氏名、捺印、病院長本田良寛殿となっている。借用書の後書きに、住民登録しましょう、健康保険に入りましょう、治るまでまじめに通い、困ったことはすぐ相談して下さいと書かれている。

良寛さんは20年程前に他界したが、彼が心血をそそいだ社会医療センター附属病院は市大医学部の大勢の後輩によって今も立派に運営されている。

良寛は綽名ではない。本名は本田良寛だが、親しみを込めて、誰も良寛と呼び捨てにしていた。高校の成績が少しぐらい良いからといって医学部へ進学し、臨床研修がおわるとすぐに金儲けに走るような若者に、良寛の爪の垢でものませたい。

参考：『大阪市社会福祉研究』15号、1991年。

『仁滞』（市大医学部同窓会誌）、67号、2002年。

2. アフガニスタンの良寛さん

市大医学部とアフガニスタン医療援助のかかわりは水野祥太郎先生にはじまる。水野先生は市大医学部整形外科の初代教授で、阪大教授、川崎医大学長を歴任された。先生はコロンボプランに基づき、1965～1970年度のアフガニスタン支援プロジェクトを立ち上げ、ご本人はじめ何人もの整形外科医を派遣された。その最終ランナーが山野慶樹博士（市大名誉教授・市大37年卒業）で69～70年の1年3ヶ月間滞在し、国立病院その他で大活躍した。当時は王制から共和制に移行したときで、左右に偏ることなく平和であったらしい。

山野博士はシルクロードに関係の深いアフガニスタンが余程気に入ったらしく、再度訪問したいと思っていたが、ソ連との戦争、その後長びく内戦等で訪れる機会はなかった。2001年9月11日のニューヨークのテロの後、アメリカの掃討作戦でタリバン政権が崩壊して、その後アフガニスタン復興会議が日本で開催された。2002年1月外務省主催の復興会議に山野博士は招かれ、医療支援に一翼を荷うことになった。JICAの短期プロジェクトは、“地雷被害者等外傷支援”というものであった。何しろ何時地雷が爆発するかわからない治安の極めて悪いなか、何度も渡航し、カブール大学附属病院を中心に診察に、医学教育に大いに貢献した。また、日本の病院で古くなった医療器機をもらいうけ、それを現地の病院に度々送っている。

内戦が長びいたアフガニスタンの医療事情は周辺のイランやパキスタンとくらべると劣悪である。山野博士は現地の医師を研修生として市大附属病院に受け入れ、また、今回文科省に働きかけて大学院生の特別枠を獲得した。また現地では診療困難な患者を関連病院（清恵会病院）へ受け入れ、手術料はじめ入

院費を無料にするなど、まさに良寛医師というに相応しい。今年は2回現地から絵はがきをもらった。

参考：『大阪市大整形外科高岡邦夫教授退官記念誌』2009年。

3. ボランティア

平成7年1月阪神淡路大震災があった。市大はさほどの被害をうけなかったが、近隣の大学として相応の活動をした。このなかで私がもっとも感激したのは、生活科学部の学生達が全くはじめての経験であるにもかかわらずボランティアとして救援にかけつけたことである。大災害のあとの救援は経過時期によって要望が変わってくるが、彼らは長期にわたってよく働いた。救援する側と受ける側とのやりとりなど、大学のキャンパスでは学び得ないことを数多く経験したに違いない。個人プレーではないので、後に名前の残るわけでもない彼等の行動は高く評価されてよい。

参考：『阪神・淡路大震災と大阪市立大学の対応—大震災に関する大阪市立大学の活動資料リスト—』大阪市立大学、1998年。

おわりに

タイトルの「市大らしさ」について「三題咄」を記したが、平素は何事もないようだが、何か事がおこれば身の危険をかえりみず、反射的に弱者に手をさしのべようとする心意気。これが「市大らしさ」ではないだろうか。次世代への多少の願望も込めて、そう言いたい。

大阪市立大学史紀要 第2号（2009）より転載

日本薬理学会部会めぐり

日本薬理学会には4つの部会があります。北から北部会（北海道～新潟、富山、福島）、関東部会（栃木、群馬～長野、静岡）、近畿部会（愛知、石川～広島、徳島、香川）、西南部会（愛媛、高知、鳥取、島根、山口～沖縄）です。北部会には治療会会員の川村先生がおられます。関東部会には池本先生がおられます。西南部会には光山先生、奥西先生がおられます。大多数の会員は近畿部会の所属です。全国規模の年会は3月に開催されます。部会は、関東部会と近畿部会が年2回開催され、他の北部会と西南部会は年1回です。

年会の会長は、各部会に参加して評議員会で年会の説明と進捗状況を報告いたします。私も、近畿部会以外に東京へ2回、富山市と愛媛県松山市へ1回伺いました。同じ薬理学会ですが、それぞれの部会で特色があります。近畿部会と関東部会の会員数はそれぞれ他部会の2倍以上です。関東部会の開催された東京医科歯科大学の荻原先生（7月11日）と東京女子医科大学の丸先生（10月10日）の部会へは日帰りで行ってきました。JR中央線の御茶ノ水駅から見えるように医科歯科大学は狭い敷地の中に医学部と歯学部の高層の施設がひしめき合って建てられ、案内の地図を参考にしても会場の目的地にはたどり着くのが難しいほどです。学会の主催者が要所要所に案内を掲示しておられますので何とかたどり着くことが出来ます。狭い敷地の関係からか会場の5号館講堂は学生のサークル室との兼用の建物で天井高が十分ではなく、スライドの映写には不向きな建物でした。しかし、時代の最先端を行くシンポジウム「ケミカルバイオロジーから創薬」が企画され、一般題数も50演題程度ありました。東京女子医科大学は新宿から都営地下鉄大江戸線の若松河田駅から徒歩5分の弥生記念講堂を中心に開催されました。特別講演として「炎症とは何か」があり、近年の分子機構を元にした自然免疫システムについての興味ある講演があり、シンポジウムも組まれて、一般演題は24題でした。関東部会の規模からは少し寂しい感じがしますが、部会長の先生方の意気込みが十分に感じられました。大江戸線には新宿近辺に「新宿」、「都庁前」、「新宿西口」の3つの駅があり、JR新宿駅経由で新宿から乗車した関係で目的地の駅までとおおい遠周りをしました。田舎者丸だしです。

北部会は9月26日に富山医科大学の倉石先生が部会長をされました。城址跡近くのすごく立派な富山国際会議場で48演題の講演がありました。北海道からは飛行機を利用できます。しかし、便数に限りがありますので2泊3日の日程になるようです。飛行機の利用が出来ない東北地域からは東北新幹線、上越新幹線、越後湯沢から在来線と乗り継いで集まって来られます。こちらも2泊3日の日程のようです。大阪からはJRのサンダーバードで約3時間半で行く

ことが出来ます。金沢からはJRで30分ほどの距離です。冬場であれば富山湾のブリを賞味できますが、9月中旬では中途半端で、観光客も少なく閑散とした静かな町でした。帰路は富山名物の鱒寿司と鰯の寿司の個売りを当てにビール飲みつつ、この時も日帰りいたしました。

西南部会は11月27日に愛媛大学の前山先生が部会長をされました。北部会と同様に集まるのに時間と労力がかかる部会です。私は伊丹空港からANAのプロペラ機で松山空港へ約1時間のフライトです。胴体着陸で有名なボンバルディアDHC-8が使用されています。もちろん機内へはバスで久しぶりに移動しました。バスの中で安部陽一先生が勤務されて居られます医療法人錦秀会の渡邊建彦先生（名誉会員）にお会いしました。部会長の前山先生は東北大学時代の渡邊先生のお弟子さんです。薬理学会には中枢神経系の研究者が非常に多く、循環・腎臓関係の研究者はマイノリティーです。西南部会には循環関連の研究者が多く、一般演題を聞かせていただき、活気のある質疑応答を楽しませていただきました。評議員会にて年会のご案内を終え、チンチン電車に10分ほど乗り道後温泉本館に行ってきました。明治27年に建てられた木造3階建ての立派な建物です。入浴料金は600円から1500円までとピン・キリです。浴衣と貸しタオル、茶菓子付きの1200円の入浴券を購入して2階の広間を通り、浴衣に着かえて霊の湯（たまのゆ）に浸かり、また一度浴衣を着こんで1階の銭湯の神の湯に浸かりに行き、ゆっくりとりラックスしてきました。幾組かの顔見知りの先生方とも湯船でお話をすることもできました。極楽極楽！



☆岩尾洋先生 お誕生日会☆

『新人紹介』

著：M2 川本 由貴子、杉原 舞有子

2009年4月より、私たちに後輩ができました。大阪薬科大学出身の文沙耶さん、山下直人くん、同志社女子大学薬学部出身の南野優子さんの3人です。私たちを含め院生が一気に5人になったので、教室の雰囲気はガラッと変わり、とても賑やかになりました。では始めに、3人のキャラを紹介します。

- ・文 沙耶（むんちゃん）：天真爛漫、食に対する執着心
- ・山下 直人（ぴー）：ステレオタイプ、ごつつ真面目
- ・南野 優子（カール優）：Going My Way、やさしさのかたまり

個性豊かな後輩たちですが、3人とも努力家で日々成長しています。先輩として頑張ろうという気になると同時に、皆の今後が楽しみです。

それでは、後輩たちに自己紹介していただきましょう。



☆4月 新入生歓迎会☆

山下 直人（やました なおと）

先生方を除くと男性が一人という厳しい状況で始まった研究室。入学後、タンパク定量、Western Blotting の次に学んだことは、同性の友人の尊さです。

女性の会話は非常に恐ろしい……。男性への評価の厳しさが尋常ではありません。

ここで少し自己紹介を。

大阪薬科大学・病態分子薬理学研究室出身の23歳です。

医薬品の開発に携わることが将来の夢であり、趣味は音楽とスポーツです。大阪で活動しているバスケットボールチームがあれば、是非ご連絡ください！

さて、ここからは真面目な話。私は泉先生の下、4月から動物実験を行ってきました。マウスやラットの他、ブタなどの中型の動物を扱うこともでき、毎日ワクワクしながら実験しています。一方、抄読会ですが、これは非常に辛い。必死にまとめても、的を射た質問が無数に飛び交い、まるで合戦の最中のような状況です。しかし、過去の先輩もこれ乗り越え、卒業されており、私たちも一矢報いようと日々切磋琢磨しています。

今後は、自分の意見を持ち、就活や実験に励み、短い院生生活を悔いのないものにする為に、できることをコツコツとやっていきます！こんな私ですが、どうぞ宜しくお願い致します！

南野 優子（みなみの ゆうこ）

今年の4月から薬理学教室でお世話になっていますM1の南野優子です。

将来に向けてステップアップしようと大学院に入学して、早くも8ヶ月がたとうとしています。現在は、研究をしつつ、就職に向けていろいろと考える毎日です。

そんな私について自己紹介をさせていただきたいと思います。

出身：大阪市(杉本キャンパスから徒歩5分です)

出身大学：同志社女子大学 薬学部 医療薬学科 1期生

臨床薬剤学研究室所属

性格：マイペースです。

また自分の譲れないことに関しては結構頑固なところがあります。

大学時代の部活：ユースホステルクラブ、書道部

趣味：旅行、キャンプ

最近は調剤薬局のバイトが楽しいです。

将来の目標：病院で臨床薬剤師として活躍できたらと考えています。

研究室のみなさんへ

この場を借りて…。岩尾先生はじめ三浦先生、中尾先生、泉先生、塩田先生には、いつも優しく、時には厳しく熱心にご指導していただきありがとうございます。特に、指導教官の中尾先生には、ご迷惑も多々おかけしていますが、いつも温かくご指導していただき本当に感謝しています。

そして、いつもの的確なアドバイスをしてくれる田中さん、どんな相談でも聞いてくれるダーヌは、私にとってお姉さんのような存在です。M2の杉さん、ゆっこさんは、先輩・後輩の壁なく接してくれて、いざという時には親身に話を聞いてくれる大きな存在です。M1のさやとぴーは、いつも明るく、セミナーなどで大変なときでも、私も頑張らないと！と思わせてくれます。

薬理学教室のこんな環境で過ごせることは、本当に幸せだと感じます。

こんな私ですが、研究に就職活動に精一杯頑張っていきたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願い致します。

文 沙耶（むん さや）

好きなもの：食べ物全般（特に餅）

海外（一生の間に15カ国行きたいです。現在5カ国です。）

研究室の電子レンジの“チン”の音（毎回めっちゃ気持ちよく“チン”って呼んでくれます）

食べ物好き度高い：①お好み焼きは餅チーズ入り、ピザは餅のせ、鍋にも餅という感じがす。周囲の人には、「そんなに好きなら、餅だけで食べれば？」ってよく突っ込まれます。

②研究室でビニールのかさかさって音が聞こえたら、誰かが何かを食べ始めたと思って気になります。

海外好き度高い：毎週土曜日は海外旅行しています。（テレビで、..）

これを観ている時は、本当に幸せな気持ちになります！！

4ch「知っとこ！」の新婚さんの朝ごはん

⇒ナレーションの人が必ず「ぶ～らぶら」って言うのが、癒し系です。

6ch「朝だ！生です旅サラダ」の海外マンスリー

⇒一ヵ月ごとに国が変わります

8ch「にじいろジーン」の地球まるごと見聞録

⇒私は3つの中でこれが一番お気に入りです。

ぜひ観てみてください。ただ、この3つ、時間は思いっきりかぶってますが、..。ちなみに私はチャンネルをカチャカチャ回しています。

意気込み：必ず実験で良い結果を出します！！

塩田先生、頑張るので見ててください！！

最後に一言：岩尾先生に「牛」と言われ、中尾先生に「ダンゴ虫」と言われ、泉先生に「……（かける言葉も見当たらないのでしょうか）」と言われ、塩田先生に「おっさん」と言われますが、まちゃことダーヌの優しくてきれいなお姉さま達と、ゆっこ姉と杉さんの頼れる先輩と、ぴーと優ちゃんのかけがえのない仲間に囲まれて楽しくやってます。



『院生対談』

・卒業前に

著：M1 文 沙俣、山下 直人、南野 優子

ここからは、私たち M1 が偉大なる先輩である「川本由貴子さん」と「杉原舞有子さん」をご紹介しますと思います。

キャッチフレーズ

ゆっこさん（川本）：恋する乙女 ⇄ デストロイヤー（ギャップありすぎやろ！）

すぎさん（杉原）：The Small Voice（声張っていきましょ～エ○ザイ！！）

入学当初から私たちを引っ張ってくれた先輩たちです。右も左もわからない私たちに優しく接してくれました。ゆっこさんは決して白衣を着ず、常に赤ジャージを身につけています。（何のポリシー？）すぎさんはつつけば出てきます。（埃ではありませんが……でもたまに出てくるか！）そんなお二人も3月には卒業し、それぞれの道を歩んでいかれます。そこで、薬理学教室での院生生活について伺いました。

（※文：文 沙俣、山：山下 直人、南：南野 優子）

（※川：川本 由貴子、杉：杉原 舞有子）



Q1. 院生生活で学んだことは？

杉：いっぱいありすぎるよな。全てが勉強やった気がする。

川：せやなあ。まず、空気読めるようになった。

杉：え、いやいや、それはまだこれからやで！

川：あと、社会の厳しさ！成果主義の厳しさを社会に出る前に知れてよかった。

「すべからく結果だよね。」っていう塩田先生の言葉が忘れられへん。

杉：ほんまやなあ。辛い毎日やったわ。

文：暗っ！！

杉：でも結果が出た時は、ものすごく嬉しい！

川：うんうん！あれほど嬉しいものはないなあ！

M1 も頑張りや！！（●^o^●）

M1：はい。わかったあ。（注：塩田先生の口ぐせです。聞き取れないほどの低音。）

Q2. 卒業にあたって、何が一番寂しいですか？

川：みんなに会えんくなることかなあ。

文：私に会えんくなって寂しいでしょ？

杉：生活ガラッと変わるやろうしな。もう天王寺に来ることもないんかな。

南：いや、来てくださいよ！！

M2：はい。わかったあ。



Q3. 市大薬理の魅力は？

川：あたたかいスタッフの皆様方！愛があるよな！

杉：迷惑ばかりかけて何度も怒られたけど、奥底に愛を感じた！

山：間違いないですね！

Q4. これから修士論文・卒業を控えていますが、意気込みをどうぞ！

川：この2年間で学んだことをフルに活かして頑張ります！

杉：必死に頑張るのみです！

M1：がんばってください！！！！

Q5. では最後に、スタッフの皆さんに向けて一言お願いします。

岩尾先生へ

おんたい。先生には、感謝してもしきれないくらいお世話になりました。グダグダだった私たちを、辛抱強く鍛えてくださいましたね。市大に来る前は「岩鬼先生」とお聞きしていましたが、厳しい中にも愛があり、こんなに学生のことを大切に想ってくださる先生は他にいないと思いました。時に厳しく、時に優しく。先生の怒った顔はとても恐かったですが、先生の笑顔はかわいらしくて大好きです。

先生にいつも笑顔でいていただけるように、残りの院生生活も全力を尽くして頑張っ

ていきます。もちろん卒業後も、薬理の名に恥じぬよう、頑張っていきたいです。

本当にありがとうございました。

三浦先生へ

三浦先生。先生は、いつも私たちに優しく接してくださいました。先生が「おう！頑張ってるか！？」、「実験うまくいっとるか？」と声をかけてくださる度に、元気が出て励みになりました。セミナーでは、私たちのいたらない部分を丁寧にご指導いただき、とても勉強になりました。

先生といえば、お酒ですね！食事を一緒にさせていただくと、いつも、焼酎を何杯もおかわりしておられたのが強く印象に残っています。先生の優しさと笑顔は忘れません。これからも、お酒を飲みすぎないようお元気でいてくださいね。本当にありがとうございました。

泉先生へ

泉先生。先生には大変ご迷惑をおかけし、大変お世話になりました。2年間も私の面倒をみてくださって、本当にありがとうございます。就活で悩んでいる時は、ご飯につれて行ってくださりアドバイスをしてくださいました。私が窮地に陥った時も、どうすればよいか一緒に考えてくださいました。どんな時も私の気が済むまで、話を聞いてくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にお世話になり、ありがとうございました。（杉原）

どんな時でも、優しく、誰よりも丁寧に指導して下さった泉先生。入学当初のバルーン傷害の動物実験では、難しい手技でも何でも私に挑戦させてくださいましたね。先生の指導のおかげで貴重な経験ができたことを嬉しく思います。また体調をくずした時は、色んな病気を勝手に妄想する私によく付き合ってくださいました。先生に診察していただいた数々の症状は忘れません。本当にありがとうございました。（川本）



☆泉康雄先生 お誕生日会☆

塩田先生へ

院生 1 年目は先生に迷惑をかけっぱなしで、出来の悪い教え子だったかと思います。そんな時でも、塩田先生はやさしく、ときに厳しく、指導してくださいました。先生のおかげで、未熟な自分から脱却することができました。先生には感謝の想いでいっぱいです。本当に市大薬理にきてよかった。そして塩田先生に出会えてよかった。これから、今のままで明るく元気な、熱い塩田先生でいて下さい。本当にありがとうございました。(川本)

先生は、私の甘ったれた根性をたたき直してくださいました。ご迷惑ばかりおかけした私に、責任という言葉の意味を教えてくださいました。先生のおかげで、少し変わったように思います。ですが、社会人としてはまだまだです。さらに成長できるよう、頑張っていきたいと思っています。本当にありがとうございました。(杉原)



川本由貴子さん 就職内定！！

中尾先生へ

中尾先生は On と Off の二面性を持っていて、話していると学ぶ事も多く本当に楽しかったです。On の面では、特にセミナーの際、日本語の指導をしてくださったことに感謝しています。社会人になる私たちのために色々アドバイスしていただいてありがとうございました。Off では、就職が決まった時、行き付けのバーに連れてってくださったこと、鳥仙で飲んだこと、どれも濃く思い出に残っています。先生のように頭の回転が速くて、おもしろくて、心の広い人間になれるよう、これから努力していきます！！

本当にありがとうございました。

田中さんへ

まちゃこ。いつも頼もしくて何でも相談できる、まちゃこ。実験のこと、就活のこと、プライベートのこと、たくさん教えてもらいました。楽しい時も辛い時も、いつも傍にいて暖かく見守ってくださいました。

私たちにとって、まちゃこは偉大な先輩でした。徹底した仕事ぶり、とても尊敬しています。でも、たまに可愛らしい声になるまちゃこ。ギャップが素敵です。

私たちも、まちゃこみたいに仕事のできる女になります！
本当にありがとうございました。



杉原舞有子さん 採用試験合格！！

山田さんへ

山ダーヌ。私たちにとってダーヌはお姉さんの存在でした。ダーヌの笑顔を見ると、いつも心が癒されました。悩みがあると、いつもダーヌに相談させてもらいました。豊富な経験から繰り出される的確なご助言の数々。おかげさまで、院生生活・プライベート共に充実した毎日になりました。

あと、ダーヌは美味しいものに目がなくて、グルメガイド以上にお店に詳しくかったですね。連れて行ってもらったお店は、どれもおいしいお店ばかりでした。また行きましょうね！本当にありがとうございました。

最後に

薬理教室の皆様にご指導いただきながら過ごした２年間は、一生忘れられない２年間になりました。皆様のおかげで、入学前の自分たちとは比べ物にならないほど大きく成長することができました。まだまだ未熟な面は多いかと思います。社会に出れば、多くの困難が待ち受けているでしょう。そんな時は、ここで学んだことや感じたことを活かし、一歩ずつ踏みしめて乗り越えていきたいと思っています。

またお会いする日まで、皆様のご多幸をお祈りしています。

一言近況報告（敬称略）

6月6日（土）に、上海楼（横堀店）にて、洽楽会の小宴を開催しました。

御案内葉書に添えた一言近況報告にご返信いただいたものをここに掲載します。

皆様、お忙しい中、ありがとうございました。

- ・ 泉家 康宏： 熊本大学の循内で臨床と実験をしています。コラボで仕事ができるよう頑張ります。
- ・ 市川 富夫： 後期高齢者に突入。75の手習い始めています。いろいろな分野にチャレンジ。洽楽会の盛会を祈念しています。
- ・ 伊藤 勝彦： 参加できないのが非常に残念です。近況としては、マイクロミニブタが6ヶ月令で7kg前後のものが安定的に作れるようになりました。
- ・ 大田垣 京子： 趣味にボランティアにと毎日元気に生活出来る事を感謝しております。
- ・ 岡田 美代子： プールに歩きに行ったり、友人とお喋りしたりして元気に生きています。教室の発展を祈ります。
- ・ 重栖 幹夫： 元気に働いております。
- ・ 岸本 武利： まだ毎日出勤生活を送っています。



- ・ 笠井 貞夫： 元気に開業医生活を楽しんでいますが、患者数が激減し財布は四苦八苦です。電子ブックのUpToDateを購読し始めて5年になりますが、何と便利な本でしょう。swine influenza がやかましくなってまだ数日ですが、swine influenza の review がもう出来ました。

- ・瀬戸 真澄： 今年4月より小児科医欠員一名の状態が多忙を極めています。
- ・田中 基晴： アリスキレンはじめ、様々な新薬の開発、特に薬理に関わっております。
皆様方の健勝をお祈り申し上げます。今回は出席できませんが、近くまた
お会いできる日を楽しみにしております。
- ・中西 均： 今年度は名古屋市交通問題調査会委員として、守山区内の「エコ交通マッ
プ」創りに挑戦します。
- ・中原 静代： 山歩きと実家の両親の世話を中心に生活しています。今年のゴールデン
ウィークは唐松岳に行ってきました。
- ・西村 敬治： 2008年8月にOffice移転し、梅田のプリゼータワー(29階)におります。
- ・西村 貞子： 元気に暮らしています。
- ・長谷川 隆通： 元気しております。



- ・東尾 尚宏： 町の諸団体とのつながりも意識しながら日々暮らしています。
- ・樋口 純子： 私も老人ですが、地域の人達の介護ボランティアをしながら、皆様より
笑顔をいっぱいいただいています。元気です。ご発展をお祈りしていま
す。
- ・蛭間 政和： 後期高齢者しんどいですね。
- ・広石 隆： まもなく73歳になります。学問とは縁遠くなりました。引退も近づいて
参りました。息子があとを継いでくれます。

- ・ 藤田 明子： またお目にかかれる日を楽しみに致しております。
- ・ 藤田 直： 最近DNAのオンとオフのバランスが猛スピードで狂い始めているのを感じる今日この頃です。



- ・ 松本 嘉子： 毎年お誘い下さいましてありがとうございます。私は佐々木大象先生の化学の部所に所属していました。60年近い昔になります。現在も元気で一人暮らしを楽しんでいます。
- ・ 光實 茂： 聴力が弱り現在は診療もやめ、リタイア致しました。
- ・ 安田 俊吉： 傘寿となりました。
- ・ 山添 裕康： 学部6期で老令ながら現役でなんとか元気に働いています。皆様によろしく。
- ・ 山田 明男： 昨年両脚に人工股関節を入れました。痛みは全くありませんが、まだ借りてきたという感じがします。
- ・ 山中 伸弥： どうしても都合がつかませず誠に残念ながら欠席させていただきます。ご盛会をお祈り申し上げます。
- ・ 吉本 蓉子： 若い頃は夢の様に過ぎ、70歳を超えましたが、相変わらずゴルフとシャンソンのライブを楽しんでいます。感謝！の毎日です。

今年の出来事

・ 2009年2月

塩田正之先生が第38回日本心脈管作動物質学会にて奨励賞を受賞されました。

・ 2009年3月

山中伸弥先生が日本薬理学会の第2回江橋節郎賞を受賞され、昨年の第82回日本薬理学会年会において受賞講演をされました。故江橋節郎先生はトロポニンの発見により世界的な薬理学者で皆様も御存じのことと思います。江橋先生を記念して賞が設けられ、第1回はエンドセリンの発見者である真崎知生先生が受賞しておられます。

・ 2009年4月

薬理学教室、薬効安全性学に3名の修士課程の学生が入学いたしました。

南野優子（同志社大学薬学部卒）、山下直人（大阪薬科大学卒）、文沙耶（大阪薬科大学卒）の3名です。

・ 2009年6月

山田祐規子さんが医局秘書として入られました。

・ 2009年9月14日

山中伸弥先生がラスカー賞を受賞されました。米国の医学賞の中で最も権威のある賞で、ノーベル賞の登竜門だそうです。おめでとうございます。

・ 2009年11月13日（金）

会長 岡村富夫（滋賀医科大学・薬理学講座）

第116回日本薬理学会近畿部会（大津市・ピアザ淡海）を主催されました。

83回日本薬理学会年会準備状況

治楽会の先生方には多大なご支援を賜り有難うございます。

薬理学会は薬学6年制の影響を受けるのではないかと推移を見守っている段階です。企業人の参加も近年著しく減少しており、学会の運営方針も理事会主導で変革中です。

年会の準備は特別講演の演者の選定とシンポジウムの公募と選定は夏ごろに終了して、11月初めに年会優秀賞への応募演題と、口演とポスター演題の募集を締め切ります。年会優秀賞へ130題ほど、口演とポスター演題に800題程度の例年通りの応募がありホッと一息ついたところです。11月中旬には1週間弱でそれぞれの講演の座長を決める作業を教室員総出で行い、ようやく学会の形が見えてきました。年明けにはプログラムと英文抄録の初校が出来てくる予定です。教室員一同日本薬理学会の年会準備に向けて頑張っております。

治楽会の山中伸弥先生の講演を一度じかに聞きに来られますよう御願いたします。治楽会の先生方は受付でその旨をお申し出ください。皆様のご来場を楽しみのお待ちしております。

第17回 大阪市大フォーラム

8月28日(金)、あべのメディックス6階研修室におきまして夏の研究会を開催致しました。

発表演題10題、そして活発な質疑応答。

皆様のお陰を持ちまして盛会となりました。ご多忙の折、また遠路、本当にありがとうございました。

プログラム(敬称略)

開会の辞

岩尾 洋 (大阪市立大学大学院医学研究科分子病態薬理学)

1. 13:15 ~13:35

演者 木村 公洋 (大阪薬科大学病態分子薬理学 *松村 靖夫)

演題 DOCA-食塩高血圧ラットの腎障害発症・進展時におけるET-1およびNO産生系の相互作用

2. 13:35 ~13:55

演者 池田 康将 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部薬理学 *玉置 俊晃)

演題 心血管リモデリングにおける男性ホルモンの作用機序

3. 13:55 ~14:15

演者 小淵修平 (兵庫医療大学薬学部医療薬学科 *安屋敷 和秀)

演題 5/6腎部分切除による慢性腎臓病モデルラットにおける交感神経の機能変化

4. 14:15 ~14:35

演者 中野 大介 (香川大学医学部薬理学 *西山 成)

演題 大動脈弁閉鎖不全モデルラットにおける腎障害に対するACE阻害剤の影響

5. 14:50 ~15:10

演者 川本 由貴子 (大阪市立大学大学院医学研究科分子病態薬理学 *岩尾 洋)

演題 FGF-2を介したプラバスタチンの内皮機能亢進作用

6. 15:10 ~ 15:30

演者 北田 研人 (大阪薬科大学病態分子薬理学 *松村 靖夫)

演題 ラット頸動脈バルーン傷害モデルにおけるエンドセリン-1の役割

7. 15:30 ~15:50

演者 今奥 琢士（大阪薬科大学薬品作用解析学 *大野 行弘）

演題 新たな本態性振戦モデル Tremor ラットの薬理評価

8. 15:50 ~16:10

演者 木平 孝高（徳島大学大学院ヘルパルサイエンス研究部薬理学 *玉置 俊晃）

演題 電位依存性KチャネルKv2.1とKv1.2のヘテロマー形成

9. 16:10 ~16:30

演者 町田 裕一（大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器科学&薬効安全性学 *三浦 克之）

演題 樹状細胞除去テクニックを用いたマウス一側性尿管閉塞モデルにおける腎線維化の検討

10. 16:40 ~ 17:30 特別講演

演者 今村 武史（滋賀医科大学医学部薬理学）

演題 脂肪細胞におけるインスリン依存性糖輸送の分子機構

閉会の辞 岩尾 洋

御出席者名簿(敬称略、順不同)

※当日、受付にて御記帳いただいた方を掲載しております。

☆大阪薬科大学 薬品作用解析学研究室

大野 行弘	河合 悦子	石 原 静	今奥 琢士	今木 淳太
多田羅絢加	岡野 元紀	清水 佐紀	新 範之	祖父江伸匡
寺 田 亮	原田 悠郷			

☆大阪薬科大学 分子病態薬理学研究室

松村 靖夫	大喜多 守	太井 健詞	北田 研人	木村 公洋
佐藤 晃大	鈴木 理恵	善田 直樹	田中 亮輔	西村 友里
長谷川健一	福本 大起	山中 里紗	山本 真也	吉岡 敏孝

☆香川大学 形態・機能医学講座 薬理学

西 山 成 中野 大介

☆滋賀医科大学医学部薬理学

岡村 富夫 今村 武史 田和 正志

☆徳島大学 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部薬理学

玉置 俊晃 石澤 啓介 池田 康将 今西 正樹 木平 孝高
富田 修平 古川 圭

☆奈良県立医科大学

吉栖 正典 富田小優子 趙 晶

☆兵庫医療大学

安屋敷和香 小淵 修平

☆大阪市立大学大学院医学研究科 薬効安全性学

三浦 克之 町村 裕一

☆大阪市立大学大学院医学研究科 分子病態薬理学

岩 尾 洋 泉 康 雄 中尾 隆文 塩田 正之 川本 由貴子
杉原舞有子 南野 優子 文 沙 侑 山下 直人

2009年 論文発表

1. Izumi Y, Shiota M, Kusakabe H, Hikita Y, Nakao T, Nakamura Y, Muro T, Miura K, Yoshiyama M, Iwao H.
Pravastatin accelerates ischemia-induced angiogenesis through AMP-activated protein kinase.
Hypertens Res. 2009 Aug;32(8):675-9. Epub 2009 Jun 5.
2. Izumi Y, Okatani H, Shiota M, Nakao T, Ise R, Kito G, Miura K, Iwao H.
Effects of metoprolol on epinephrine-induced takotsubo-like left ventricular dysfunction in non-human primates.
Hypertens Res. 2009 May;32(5):339-46. Epub 2009 Mar 20.
3. Tsumoto C, Tominaga K, Okazaki H, Tanigawa T, Yamagami H, Watanabe K, Nakao T, Koh K, Watanabe T, Fujiwara Y, Yamane T, Oshitani N, Hino M, Higuchi K, Arakawa T.
Long-term efficacy of Helicobacter pylori eradication in patients with idiopathic thrombocytopenic purpura: 7-year follow-up prospective study.
Ann Hematol. 2009 Aug;88(8):789-93. Epub 2008 Dec 19.
4. Koichiro Kitamoto, Yuichi Machida, Junji Uchida, Yasukatsu Izumi, Masayuki Shiota, Takafumi Nakao, Hiroshi Iwao, Tokihito Yukimura, Tatsuya, Nakatani, and Katsuyuki Miura
Effects of Liposome Clodronate on Renal Leukocyte Populations and Renal Fibrosis in Murine Obstructive Nephropathy
J Pharmacol Sci 111,285-292(2009)
5. 高血圧（上）－日本における最新の研究動向－基礎編 序文
日本臨牀 67 巻 増刊号 6 1-3, 2009
岩尾洋
6. 高血圧（上）－日本における最新の研究動向－基礎編－XIII 特論
薬剤の多面的作用と血管保護
日本臨牀 67 巻 増刊号 6 680-684, 2009
泉康雄

7. 高血圧(下)－日本における最新の研究動向－臨床編－XIII 特論

ARB の新たなエビデンス・展開

日本臨床 67 巻 増刊号 7 687-691, 2009

泉康雄 岩尾洋

8. PPAR γ coactivator-1 経路による心筋代謝制御機構

日本薬理学雑誌 133, 362 (2009)

泉 康雄

学会発表

塩田正之、泉康雄、中尾隆文、岩尾洋

内皮機能における Heat shock cognate protein70 (Hsc70) の役割

第 38 回日本心脈管作動物質学会 (2009 年 2 月 6 日 岡山)

塩田正之、泉康雄、中尾隆文、三浦克之、岩尾洋

Hsc70 は血管内皮細胞における Akt シグナル制御に必須である

第 82 回日本薬理学会年会 (2009 年 3 月 16-18 日 横浜)

泉康雄、塩田正之、岡谷秀明、伊勢良太、中尾隆文、三浦克之、岩尾洋

新しい生活習慣病モデルの薬理ゲノミクス研究

ーサル心不全モデルにおける薬理ゲノミクスー

第 82 回日本薬理学会年会 (2009 年 3 月 16-18 日 横浜)

Yasukatsu Izumi, Yasuhiro Nakamura, Minoru Yoshiyama and Hiroshi Iwao.

Heat shock cognate protein 70 (Hsc70) is essential for Akt signaling in endothelial functions

第 73 回日本循環器学会学術集会 (2009 年 3 月 20 日-22 日 大阪)

泉康雄、塩田正之、中尾隆文、日下部裕美、疋田優子、杉原舞有子、川本由貴子、

三浦克之、岩尾洋

血管新生におけるプラバスタチンの効果

第 11 回日本薬理学会近畿部会 (2009 年 6 月 26 日 金沢)

泉康雄、塩田正之、中尾隆文、日下部裕美、疋田優子、杉原舞有子、川本由貴子、

三浦克之、岩尾洋

血管新生におけるプラバスタチンの効果

第 32 回日本高血圧学会総会 (2009 年 10 月 1-3 日 大津)

泉 康雄、塩田正之、中尾隆文、岩尾 洋

Heat shock cognate protein 70 (Hsc70)は Akt を介した血管新生に関与する

第 32 回日本高血圧学会総会 (2009 年 10 月 1-3 日 大津)

川本由貴子、塩田正之、泉康雄、中尾隆文、三浦克之、岩尾洋

FGF-2 介したプラバスタチンの内皮機能亢進作用

第 116 回日本薬理学会近畿部会 (2009 年 11 月 13 日 大津)

塩田正之、川本由貴子、泉康雄、中尾隆文、岩尾洋

スタチンの多面的作用発現における FGF-2 の関与

第 19 回日本循環薬理学会 (2009 年 11 月 27 日 京都)

泉康雄、塩田正之、中尾隆文、岩尾洋

カニクイザルを用いたたこつぼ型心筋症モデル作製と $\beta 1$ 遮断薬の効果

第 19 回日本循環薬理学会 (2009 年 11 月 27 日 京都)

書籍

高血圧治療ガイドライン 2009

岩尾 洋ら

編 集 日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会

発 行 特定非営利活動法人 日本高血圧学会

発行日 2009 年 1 月 16 日 第 1 刷発行

2009 年 11 月 18 日 第 2 刷発行

日本高血圧学会専門医取得のための高血圧専門医ガイドブック

岩尾洋、泉康雄ら

編 集 日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会

発行所 株式会社 診断と治療

発行日 2009 年 4 月 10 日 初版第 1 刷発行

循環器の薬理学－薬物による生体機能修飾と臨床使用－

著 者 岩尾洋 雪村時人

発行者 メディカル・サイエンス・インターナショナル

発行日 2009 年 5 月 27 日

高血圧治療ガイドライン 2009 ダイジェスト

岩尾洋ら

編集 日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会

発行 特定非営利活動法人 日本高血圧学会

発行日 2009年9月28日 第1刷発行

2009年11月24日 第2刷発行

編集後記

はじめまして。ご縁があって、2009年6月から薬理学教室にてお世話になっております秘書の山田祐規子と申します。

半年が経ち、もうすっかりと薬理学教室に馴染んでいる気がします。2ヶ月目にして、もうずいぶん前からいるみたい。と先生や学生さんに言われました(笑)ただ仕事はまだまだ分からないことや慣れないことばかりで、先生方にご迷惑をおかけしています……。

また、現在は来る3月に開催される第83回日本薬理学会年会の事務局となっており、11月から大忙しの毎日を送っております。全員が初めての試みであり、全てが未知の世界です。私も日々戸惑いながらも日本薬理学会年会を成功させるため、精一杯お手伝いさせていただきますつもりです。

未熟な私ですが、これからも薬理学教室とともに宜しく願い申し上げます。

また来年度の洽楽会にて皆様にお会いできることを心から楽しみにしております。

